

[調査会 NEWS 654](20.6.27)

■今後の活動について

本日の記者会見で以下の文書を発表しました。

米国のテロ支援国家指定解除決定をふまえ、今後の活動について

米国ブッシュ政権によるテロ支援国指定解除決定と議会への通告は、ある意味で「他人頼み」だった日本政府の拉致問題への取り組みの問題点を浮き彫りにするものであった。さらにこれは私たちも含め国民自身に自らの姿勢を問うているとも言える。その視点に立って次のような活動を進めていく。

<基本方針>

- 1、日本政府に対しては建設的緊張関係の維持を基本に、政府の方針を「返すように求めていく」から「救い出す」へと変えさせる。「救い出す」の中には「返すように求めていく」が入るのは当然だが、政府の責任はあくまで「救い出す」ことにある。
- 2、米国に対してはテロ支援国家指定解除が拉致問題のみならず他の北朝鮮における人権問題についても、また日米同盟の視点においても裏切りであるとの認識を伝える。
- 3、国民自身も政府に求め、批判するだけでなく、さらに主体的な行動を繰り広げていく。

<具体策>

- 1については別紙のような政府の方針変更を求める署名用紙を作り、またこの趣旨を国会の質疑等を通じ政府の決断を求めていく。志ある国家・地方公務員及び

それに準じる人々とはより連携を強める。

2についてはこの趣旨にそったアピール文書を作り、しおかぜネットワークの中で賛同する組織の代表者連名で発表し、ブッシュ大統領や議会関係者、マケイン、オバマ両候補などに送る。また、今後米国政府が誤った判断をしないよう、米国におけるロビー活動も進める。

3については短波放送「しおかぜ」やバルーンプロジェクトに加え、FAX、葉書、emailによる北朝鮮への直接的なアクセスを行う。7月11日に市ヶ谷の友愛ゼンセン会館で拉致問題と国交正常化利権の問題、他の北朝鮮人権問題をひとまとめにした集会（仮称「国交正常化より北朝鮮と日本の正常化を！」集会）開催する。

平成20年6月27日

特定失踪者問題調査会代表 荒木和博

■しおかぜネットワーク参加組織について

このニュース発信の時点での「しおかぜネットワーク」参加団体は以下の36団体です（団体名アイウエオ順、カッコ内は代表者）。

ARNKA（海老原智治）

安達俊之さんを思う会（河原秀昭）

大澤孝司と再会する会（平岡一郎）

河嶋功一君を探す会（脊古道大）

桜応援団（近藤誠）

庄内ブルーリボンの会（佐藤忠智）

救う会秋田(秋田地区)（松村譲裕）

救う会いばらき（松尾秀雄）

救う会愛媛（中矢民三郎）

救う会大分（伊藤田雄三）

救う会神奈川（川添友幸）
「救う会・群馬」群馬ボランティアの会（大野トシ江）
救う会高知（森田和博）
救う会埼玉東部の会（古藤勝次）
救う会徳島（陶久俊郎）
救う会長野（塚田俊明）
救う会奈良（佐藤和彦）
救う会兵庫（長瀬猛）
救う会福岡（青木英實）
救う会三重（森田優）
救う会宮城（安藤哲夫）
救う会宮崎（吉田好克）
救う会山形（齋藤純一）
つくば、しおかぜ会（新井佐和子）
東京ブルーリボンの会（河村裕子）
特定失踪者問題調査会（荒木和博）
長崎拉致被害者救出ネットワーク（北村芳正）
中村三奈子さんをさがす会（金井英雄）
浜松ブルーリボンの会（石川博之）
東アジアネットワーク（石原倫理）
法律家の会（土田庄一）
民社人権会議（田久保忠衛）
山形ビジョンの会（工藤清）
山本美保さんの家族を支援する会（清水仁）
拉致事案全般研究会（松田紗織）
拉致問題解決を目指す会（甲斐直樹）

（本日の記者会見以降も追加がありました。現在準備中の組織が入ると来月上旬に40組織を越える予定です）

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★6月28日(土) 13:30～拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●鶴岡市・中央公民館

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 佐藤忠智会長(090-7327-1346)

★6月28日(土) 18:30～拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●酒田市・中央文化センター

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 佐藤忠智会長(090-7327-1346)

★7月6日(日) 13:00～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」(救う会神奈川主催)

●横浜情報文化センター(みなとみらい線日本大通り駅前)

●専務理事真鍋が参加

●問い合わせ: 090(9816)2187又は
sukukaikanagawa@hotmail.com

★8月2日(土) 13:30～特定失踪者問題啓発集会(救う会徳島主催)

●阿南市・文化会館

●常務理事岡田・理事三宅が参加

●問い合わせ: 陶久会長(0884-26-0090)

★8月17日(日) 13:30～公開大討論会(拉致問題を考える茨城県地方議員の会主催)

●水戸市・水戸市民会館

●代表荒木が参加

■本日の記者会見の中継について

本日は予定通り 14:00 より記者会見を行います。いつものように会場の都合により生中継ができませんので、15:00（予定）から録画中継します。ネットライブのホームページからご覧下さい。

■集会について

7月11日（金）18:30から東京市ヶ谷のUIゼンセン会館で調査会主催の拉致問題に関する集会を開催する予定です。細目が決まり次第あらためて発表しますがふるってご参加下さい。

■調査会役員の参加する講演会等の予定

（公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります）。

★6月28日（土）13:30～拉致問題講演会（庄内ブルーリボンの会主催）

●鶴岡市・中央公民館

●代表荒木が参加

●問い合わせ：佐藤忠智会長（090-7327-1346）

★6月28日（土）18:30～拉致問題講演会（庄内ブルーリボンの会主催）

●酒田市・中央文化センター

●代表荒木が参加

●問い合わせ：佐藤忠智会長（090-7327-1346）

★7月6日（日）13:00～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター（みなとみらい線日本大通り駅前）

ます)。

★6月28日(土) 13:30～拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●鶴岡市・中央公民館

●代表荒木が参加

●問い合わせ:佐藤忠智会長(090-7327-1346)

★6月28日(土) 18:30～拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●酒田市・中央文化センター

●代表荒木が参加

●問い合わせ:佐藤忠智会長(090-7327-1346)

★7月6日(日) 13:00～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」(救う会神奈川主催)

●横浜情報文化センター(みなとみらい線日本大通り駅前)

●専務理事真鍋が参加

●問い合わせ:090(9816)2187又は
sukukaikanagawa@hotmail.com

★8月2日(土) 13:30～特定失踪者問題啓発集会(救う会徳島主催)

●阿南市・文化会館

●常務理事岡田・理事三宅が参加

●問い合わせ:陶久会長(0884-26-0090)

★8月17日(日) 13:30～公開大討論会(拉致問題を考える茨城県地方議員の会主催)

●水戸市・水戸市民会館

●代表荒木が参加

●問い合わせ:029-224-7521(前にお知らせしたもので番号が違っておりました。お詫びして訂正します)

米国の北朝鮮に対するテロ支援国家指定解除の問題が注目を集めていますが、ブッシュ政権は日本の反応を見ながら(逆に言えば福田政権が事実上黙認すると認識して) テロ支援国家指定解除に踏み切る方針を明示しました。

これをやれば追い詰められていた北朝鮮、というより金正日体制はまた息を吹き返す可能性があります。しかも、14年前のジュネーブ合意と同様、結果的に北朝鮮に時間稼ぎをされるだけなのは言うまでもありません。米国の外交は緻密なようで実はかなり杜撰なものだと思いますが、これもその一例でしょう。 もっとも、本来なら1年以上前に解除しているはずだったのですから、ブッシュ政権としては日本の顔を立てたと言えないこともありません。

軍事用語で「遅滞行動」というのがあります。戦闘行動でこちらが不利な場合、小規模の戦闘を続けながら敵の前進を遅滞し、時間の余裕を獲得することです。テロ支援国家指定解除を行わせない努力というのは、結局この遅滞行動であり、これで時間を稼いでいるうちに、日本政府がその責任によって拉致被害者を救出(これはもちろん、話し合いも含めてですが)する主体的努力を行わなければならなかったはずです。

ところが、政府は昨年11月28日付の文書(調査会からの要請への回答)でも「北朝鮮自身が拉致問題の解決に向けて具体的な行動を取るよう求めていく」と述べられているように、日本政府はもともと主体的な救出への努力はしないことにしています。

米国を初めとする諸外国への協力依頼も、本来は補助的なものであって中心的なものではないはずですが。安倍総理の当時、鳴り物入りでスタートした拉致対策本部の事務局で、拉致被害者の情報などを収集する担当者が1割もないことも、先日ご紹介した広報アイデアの募集も、政府の姿勢を象徴しています。そんななかでかろうじて日本が主体的にやっていた制裁すら解除の方向というのでは、米国の足下を見られても仕方ないでしょう。

こういうときですから、最も重要なのは何なのかという点をもう一度見直す必要があります。私はそれは上記のようなあなた任せの政府の姿勢を「政治の責任として国民を救出する」というものに変えさせることだと思います。

政府の姿勢が変わったのではなく、政府の姿勢が変わらないからこそこういう結果になったのです。その点をしっかりと見極めなければなりません。

27日の記者会見ではちょうど良い時期ですので、この問題に関する見解についても発表できると思います。

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★6月28日(土) 13:30～拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●鶴岡市・中央公民館

●代表荒木が参加

●問い合わせ：佐藤忠智会長(090-7327-1346)

★6月28日(土) 18:30～拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●酒田市・中央文化センター

●代表荒木が参加

●問い合わせ：佐藤忠智会長(090-7327-1346)

★7月6日(日) 13:00～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」(救う会神奈川主催)

●横浜情報文化センター(みなとみらい線日本大通り駅前)

●専務理事真鍋が参加

●問い合わせ：090(9816)2187又は

それじゃあ、いったいどうするんだと突っ込みを入れたくもなります。しかも、アイデアが採択された場合、対策本部はそれを実施する業者（例えば印刷物なら印刷業者とか）に直接支払い、アイデアを出した団体には支払わないとのことですよ。つまり、アイデアは民間が出し、カネは税金を使い、成果を対策本部が得るということになります。

皆さんは対策本部のスタッフのうち、拉致被害者がどこにいるかとか、どうやったら救出できるかということを担当している人が1割もいないという現状をご存じでしょうか。残りの人がこういうアイデア公募のようなことをしているのです。対策本部のスタッフに限らず、お役所でも拉致被害者を救おうと真剣に考えている人ほどこういう現状には失望しています。

同じ募集するなら「拉致被害者を1人連れて帰ったら1億円」というのはどうでしょうか。金正日が「100人連れて行く」とか言い出すかも知れません。

あと、今回の募集なら、当選間違いなしの秘策を伝授しましょう。「『調査会は悪いやつらだ』ということを知らせるビデオや出版物を作る」です。

■調査会役員の参加する講演会等の予定

（公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります）。

★6月28日（土）13：30～拉致問題講演会（庄内ブルーリボンの会主催）

●鶴岡市・中央公民館

●代表荒木が参加

●問い合わせ：佐藤忠智会長（090-7327-1346）

★6月28日（土）18:30～拉致問題講演会（庄内ブルーリボンの会主催）

- 酒田市・中央文化センター
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：佐藤忠智会長（090-7327-1346）

★7月6日（日）13:00～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

- 横浜情報文化センター（みなとみらい線日本大通り駅前）
- 専務理事真鍋が参加
- 問い合わせ：090（9816）2187又は
sukukaikanagawa@hotmail.com

★8月2日（土） 13:30～ 特定失踪者問題啓発集会（救う会徳島主催）

- 阿南市・文化会館
- 常務理事岡田・理事三宅が参加
- 問い合わせ：陶久会長（0884-26-0090）

★8月17日（日） 13:30～公開大討論会（拉致問題を考える茨城県地方議員の会主催）

- 水戸市・水戸市民会館
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：029-224-7521（前にお知らせしたもので番号が違っておりました。お詫びして訂正します）

★9月21日（日）「仙台集会」（救う会宮城主催）

- 仙台市
- 代表荒木が参加

■戦略情報研究所講演会

戦略情報研究所では本日下午記の講演会を開催します。ふるってご参加下さい。

ARNKA・桜応援団・救う会いばらき・救う会神奈川・救う会高知・救う会長野・救う会兵庫・救う会福岡・救う会宮城・救う会山形・つくば、しおかぜ会・東京ブルーリボンの会・特定失踪者問題調査会・長崎拉致被害者救出ネットワーク・東アジアネットワーク・法律家の会・民社人権会議・山形ビジョンの会・山本美保さんの家族を支援する会・拉致問題解決を目指す会

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★6月28日(土) 13:30～拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●鶴岡市・中央公民館

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 佐藤忠智会長(090-7327-1346)

★6月28日(土) 18:30～拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●酒田市・中央文化センター

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 佐藤忠智会長(090-7327-1346)

★7月6日(日) 13:00～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」(救う会神奈川主催)

●横浜情報文化センター(みなとみらい線日本大通り駅前)

●専務理事真鍋が参加

●問い合わせ: 090(9816)2187又は
sukukaikanagawa@hotmail.com

★8月2日(土) 13:30～ 特定失踪者問題啓発集会(救う会徳島主催)

- 阿南市・文化会館
- 常務理事岡田・理事三宅が参加
- 問い合わせ：陶久会長（0884-26-0090）

★8月17日(日) 13:30～公開大討論会（拉致問題を考える茨城県地方議員の会主催）

- 水戸市・水戸市民会館
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：029-224-7521（前にお知らせしたもので番号が違っておりました。お詫びして訂正します）

★9月21日(日)「仙台集会」(救う会宮城主催)

- 仙台市
- 代表荒木が参加

■戦略情報研究所講演会

戦略情報研究所では本日下午記の講演会を開催します。ふるってご参加下さい。

1、日程 6月18日(水)18:30～20:30

冒頭約1時間の講演を(株)NetLiveのご協力でインターネット中継します。後半はフロアの参加者との質疑応答になります。

2、場所 UIゼンセン会館2階会議室（千代田区九段南4-8-16 tel03-3288-3549）

※市ヶ谷駅下車3分 日本棋院斜向い（地図は下記をご覧ください）。

<http://www.uizensen.or.jp/doc/uizensen/access.html>

3、講師 イリハム・マハムティ氏（世界ウイグル会議日本エージェント）

4、テーマ「ウイグルの真実」

※東トルキスタン（新疆ウイグル自治区）に対する中国共産党政権の弾圧の実態、外国人が見ることのできない現実についてお話しいただきます。

5、参加費 2000円（戦略情報研究所会員は無料）。

その後石川県白山市の集会に参加して今帰京したところなので情報がよく分からないのですが、感触ではいわゆる「再調査」の経過として何人かが出てくるのは（ただし、今の状況が続けば）それほど遠くないのではないかと思います。これが実現すれば斎木さんが何度も「今回の再調査は前のそれと意味が異なる」と言っていたとおりに言うことになります。

しかし、ここには極めて重要な問題点が隠されています。

一つは、これから北朝鮮が名前を出してくるであろう何人かについては遅くとも昨年には北朝鮮側から何らかのルートで日本側に情報が提示されているということ。つまり北朝鮮側は「解決済み」と言い続けた一方で認定者以外の拉致を認め、返す用意があったということです。これは、情報を受けた政府（もちろんごく官邸や外務省のごく一部でしょうが）側に、出すことによって世論が再度噴き上がることを恐れて隠し続けたということの意味します。また、拉致の規模が政府の言っているものより遙かに多いことを国民に知らせたくない（つまり、「北朝鮮との話し合いだけで取り返せる」との幻想が壊れては困る）ということでしょう。

もう一つは、北朝鮮が何人かを出すことを認める裏には、当然ながら日本政府に対して「拉致問題をこれで終わりにできるんだろうな」という要求があるはずだということです。したがって、「再調査」の過程で何人かが出てきたら、「ほら進展したではないか」と言って、後の人については延々と「再調査」を続けて事実上の棚上げを図る（そうしているうちに政権も、役人も代わる）というものだと思います。

政府はこれまで隠してきているリスト、そして北朝鮮から言われなくても警察などの捜査で拉致の可能性が高いと分かっているリストをすべて公開すべきです。そして北朝鮮が既に出したリストについては直ちに帰国を求めるべきです。何人かでも帰国できれば、それが前進であることは間違いありませんが、その人たちが弾よけにして拉致の隠蔽を図ることは被害者や家族のみならず、国民に対する背信に他なりません。

齋木さんは「行動対行動」と言っていました。日本政府の方針は変わらないとも言っていました。それなら北朝鮮の行動がないのにこちらから経済制裁を解除するのは欺瞞でしかありません。ここは国民の怒りが必要です。各位のご協力をよろしくお願いします。

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合もありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★6月28日(土) 13:30～拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●鶴岡市・中央公民館

●代表荒木が参加

●問い合わせ：佐藤忠智会長(090-7327-1346)

★6月28日(土) 18:30～拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●酒田市・中央文化センター

●代表荒木が参加

●問い合わせ：佐藤忠智会長(090-7327-1346)

★7月6日(日) 13:00～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」(救う会神奈川主催)

●横浜情報文化センター(みなとみらい線日本大通り駅前)

●専務理事真鍋が参加

●問い合わせ：090(9816)2187又は

sukukaikanagawa@hotmail.com

★8月2日(土) 13:30～ 特定失踪者問題啓発集会(救う会徳島主催)

●阿南市・文化会館

●常務理事岡田・理事三宅が参加

●問い合わせ：陶久会長（０８８４－２６－００９０）

★８月１７日(日) １３:３０～公開大討論会（拉致問題を考える茨城県地方議員の会主催）

●水戸市・水戸市民会館

●代表荒木が参加

●問い合わせ：０２９－２２４－７５２１（前にお知らせしたもので番号が違っておりました。お詫びして訂正します）

★９月２１日(日)「仙台集会」(救う会宮城主催)

●仙台市

●代表荒木が参加

■戦略情報研究所講演会

戦略情報研究所では下記の日程で講演会を開催します。ふるってご参加下さい。

１、日程 ６月１８日(水)18:30～20:30

冒頭約１時間の講演を(株) NetLive のご協力でインターネット中継します。後半はフロアの参加者との質疑応答になります。

２、場所 UIゼンセン会館 ２階会議室（千代田区九段南 4-8-16 tel03-3288-3549）

※市ヶ谷駅下車 ３分 日本棋院斜向い（地図は下記をご覧ください）。

<http://www.uizensen.or.jp/doc/uizensen/access.html>

３、講師 イリハム・マハムティ氏（世界ウイグル会議日本エージェント）

４、テーマ「ウイグルの真実」

※東トルキスタン（新疆ウイグル自治区）に対する中国共産党政権の弾圧の実態、外国人が見ることのできない現実についてお話しいただきます。

５、参加費 ２０００円（戦略情報研究所会員は無料）。

６、参加申し込み 事前のお申し込みは不用です。そのまま会場においで下さい。

路を隔てた向こう側にあると思います」と言いました。齋木さん自身は「外交交渉ですから批判は甘んじて受けます」と言っていました。この問題は基本的に「初めに制裁解除ありき」という官邸、もっとはっきり言えば総理と官房長官と、あと、外務大臣あたりに問題があります。戦略の誤りは戦術では取り返せません。いわんや戦略が存在していないなら話にもなりません。これで日本国民が納得すると思ったのであれば、国民もずいぶん馬鹿にされたものだと思います。

齋木さんは「再調査」がこれまでのものと違うと言っていました。おそらくは何か出てくるのでしょう。自分で入った人とか、日本人妻とか。拉致被害者も出てくるかも知れません。しかしそれは政府が言っている「すべての拉致被害者の帰国」とはほど遠いもので、最初からそんな気のない官邸が考えることは「どうやったら助けられるか」ではなく「どうやったら進展しているように見せられるか」でしかありません。大部分の拉致被害者は政府認定であれ未認定であれ見捨てられることになるのは明らかです。

これを押し返すのは国民の意思によるしかないでしょう。「しおかぜネットワーク」の立ち上げがこの時期になったというのも、ある意味時代の要請なのかも知れません。

なお、増元照明・家族会事務局長夫妻は今日（14日土曜）日本テレビ系「ウェークアップ!ぷらす」に出演予定で、今回のことに対する思いの丈を述べるとのことです。このニュースを見ても朝起きられた方はご覧下さい。

以下は本日調査会として発表した声明です。

日朝実務者協議の結果と政府の対応について

今回の合意は北朝鮮当局に再び時間稼ぎの口実を与えるだけのものであり到底認められない。

拉致をした北朝鮮が「調査」などということ自体が笑止千万であり、この「調

査」と、「拉致問題は解決済み」と言わなかったことなどを理由に制裁解除をするのでは話にもならない。よど号グループの処置などは問題外である。特定失踪者の家族は今回の協議に大きな期待を寄せていただけに落胆も大きい。

また、逆に日本政府に対しては強い疑念も生まれている。それは北朝鮮側からすでに何人かの拉致被害者の名前が出ているのではないかということである。その上で世論の硬化を恐れて日本政府の方が政治的決断を避けて逆に名前を伏せているのではないか。

いずれにしても私たちはこのような内容で制裁を解除することに反対し、政府の方針を「北朝鮮に返していただく」から「北朝鮮から被害者を奪還する」に変えさせ、全員を取り返すために全力を尽くす。あらためて今回のような姑息なやり方ではなく、福田総理自身が日本国の総理大臣として本当の決断と指導力発揮をされることを求めたい。

平成 20 年 6 月 13 日

特定失踪者問題調査会代表 荒木和博

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★6月14日(土) 18:00～ 時局講演会(救う会福岡主催)

●福岡市、福岡市人権啓発センター研究室(092-262-8464)

●代表荒木が参加

●問い合わせ:松尾和幸事務局長(090-9607-2758)

★6月15日(日) 19:00～ 特定失踪者安達俊之さんを思う会集会(同会主催)

- 白山市（はくさんし）白山町(しらやままち)集会場
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：河原秀昭代表（090-8704-5295）

★6月28日（土）13：30～拉致問題講演会（庄内ブルーリボンの会主催）

- 鶴岡市・中央公民館
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：佐藤忠智会長（090-7327-1346）

★6月28日（土）18:30～拉致問題講演会（庄内ブルーリボンの会主催）

- 酒田市・中央文化センター
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：佐藤忠智会長（090-7327-1346）

★7月6日（日）13:00～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

- 横浜情報文化センター（みなとみらい線日本大通り駅前）
- 専務理事真鍋が参加
- 問い合わせ：090（9816）2187又は
sukukaikanagawa@hotmail.com

★8月2日（土）13:30～特定失踪者問題啓発集会（救う会徳島主催）

- 阿南市・文化会館
- 常務理事岡田・理事三宅が参加
- 問い合わせ：陶久会長（0884-26-0090）

★8月17日（日）13:30～公開大討論会（拉致問題を考える茨城県地方議員の会主催）

- 水戸市・水戸市民会館
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：029-224-7521（前にお知らせしたもので番号が違っ

せん。

そうすると、政府が国民に納得させられる可能性があるのは何人かの拉致被害者を帰国させるという約束であるはずですが。しかしそれも日本人妻とか、自分でまったく好きで行った人間でごまかすことはできないでしょうから、「死亡」と言っていない認定被害者とか未認定者あたりを何人か出してくる可能性はあります。もっとも、こちらにも「誰々が帰ってくる」という情報は全くないのですが。

また、このところできている議員連盟など国交正常化推進の動きも全体としてのこの流れに入るといえます。何人か名前が出てきたときに、それをどう見るかは難しいところですが、こういうときには根本に帰るに限ります。

- ・ 拉致被害者全員を取り返さなければならないこと
- ・ そのためには何かアクションを起こしていかなければならないこと
- ・ 全員の救出のためには北朝鮮の独裁体制を変えることが必要条件であること。

福田総理、おわかりでしょうね。

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★6月14日(土) 18:00～ 時局講演会(救う会福岡主催)

●福岡市、福岡市人権啓発センター研究室(092-262-8464)

●代表荒木が参加

●問い合わせ:松尾和幸事務局長(090-9607-2758)

★6月15日(日) 19:00～ 特定失踪者安達俊之さんを思う会集会(同会主催)

●白山市(はくさんし)白山町(しらやままち)集会場

●代表荒木が参加

●問い合わせ : 河原秀昭代表(090-8704-5295)

★6月28日(土) 13:30～拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●鶴岡市・中央公民館

●代表荒木が参加

●問い合わせ : 佐藤忠智会長(090-7327-1346)

★6月28日(土) 18:30～拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●酒田市・中央文化センター

●代表荒木が参加

●問い合わせ : 佐藤忠智会長(090-7327-1346)

★7月6日(日) 13:00～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」(救う会神奈川主催)

●横浜情報文化センター(みなとみらい線日本大通り駅前)

●専務理事真鍋が参加

●問い合わせ : 090(9816)2187又は
sukukaikanagawa@hotmail.com

★8月2日(土) 13:30～ 特定失踪者問題啓発集会(救う会徳島主催)

●阿南市・文化会館

●常務理事岡田・理事三宅が参加

●問い合わせ : 陶久会長(0884-26-0090)

★8月17日(日) 13:30～公開大討論会(拉致問題を考える茨城県地方議員の会主催)

●水戸市・水戸市民会館

今日午後 7 時から予定されている日朝実務者協議の報告には家族会・救う会とあわせて調査会にもお呼びがかかりました。このところ内閣府にはしばらくご無沙汰でしたが、「今回はなぜ？」と聞いても、どうせ「特定の人を排除した覚えはない」と言われるでしょうから、有り難く受け止めて私と真鍋で参加する予定です。

この間マスコミの皆さんからも色々問い合わせを受けましたが、正直なところ私たちがまったく情報は持ち合わせていません。今回外務省は極めてガードが堅く、何も情報が出てこないの報道関係の皆さんには疑心暗鬼で「他社に抜かれるのではないかと神経をすり減らしている人が少なくないようです。

情報がないので結局推測にしか過ぎませんが、私が今考えていることをまとめてみたいと思います。

1、先月 27 日の毎日新聞夕刊の記事「拉致被害者：『数人生存、帰国の用意』北朝鮮、米に伝達」というのは証明する手だてではないものの、可能性としては十分あり得るということ。

2、従って今回に限定しなくても日朝のどこかのチャンネルでこの話が北朝鮮側から出されていた可能性はあること。

3、しかし、その場合当然北朝鮮側は代価として日朝国交正常化、モノ、カネの支援などを求めているはずであること。それを日本政府が受け入れられるかは疑問であること（これは全員を解決しなくてはならないから、ということではなく、世論の反発を買ってさらに政権支持率が下がるのが怖く決断できないということ）。

4、齋木さんが今日午前中に帰国し、総理や官房長官に報告して判断を仰ぐというが、総理のところにはとっくに交渉の概要は行っているはずであること。しかも家族会などへの報告が今から 17 時間も先であることを考えると、この 17 時間は何かの意味を持っているはずだということ。少なくとも手順の問題だけではない

いはずです。

今出ている「諸君！」7月号にも書きましたが、9.17小泉訪朝のとき家族会を外務省飯倉公館に隔離し、マスコミから引き離して死亡を既成事実化しようとしたオペレーションの指揮をとったのは当時の官房長官、福田康夫現総理です。その点はマスコミの皆さんも、国民もしっかり見ておかなければならないでしょう。

いずれにしても、拉致問題の解決とは、私たちが知らない人も含め、拉致被害者がすべて帰るということです。もちろん、その後で真相究明や金正日も含めた関係者の処罰が必要なのは言うまでもありませんが、ともかくは取り返すことが先決です。そして、そのためには北朝鮮で誰もが自由な意思表示をできるようにしなければなりません。それには言うまでもなく北朝鮮の体制変更が必要条件です。その原則だけしっかりと持っていれば判断はそう難しくないと思います。

さあ、この17時間、誰がどう動くのでしょうか。

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★6月14日(土) 18:00～ 時局講演会(救う会福岡主催)

●福岡市、福岡市人権啓発センター研究室(092-262-8464)

●代表荒木が参加

●問い合わせ:松尾和幸事務局長(090-9607-2758)

★6月15日(日) 19:00～ 特定失踪者安達俊之さんを思う会集会(同会主催)

●白山市(はくさんし)白山町(しらやままち)集会場

●代表荒木が参加

●問い合わせ : 河原秀昭代表 (090-8704-5295)

★6月28日(土) 13:30~拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●鶴岡市・中央公民館

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 佐藤忠智会長 (090-7327-1346)

★6月28日(土) 18:30~拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●酒田市・中央文化センター

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 佐藤忠智会長 (090-7327-1346)

★7月6日(日) 13:00~「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」(救う会神奈川主催)

●横浜情報文化センター(みなとみらい線日本大通り駅前)

●専務理事真鍋が参加

●問い合わせ: 090(9816)2187又は
sukukaikanagawa@hotmail.com

★8月2日(土) 13:30~ 特定失踪者問題啓発集会(救う会徳島主催)

●阿南市・文化会館

●常務理事岡田・理事三宅が参加

●問い合わせ: 陶久会長 (0884-26-0090)

★8月17日(日) 13:30~公開大討論会(拉致問題を考える茨城県地方議員の会主催)

●水戸市・水戸市民会館

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 029-224-7521 (前にお知らせしたもので番号が違っておりました。お詫びして訂正します)

荒木和博

前のニュースで北朝鮮の「反テロ宣言」について「ひょっとしたら日本の政治家や一部ジャーナリストなどでもこれをもって「北朝鮮に変化の兆し」などと言う人間がいるかも知れません。そういうのが出てきたら北朝鮮の意を受けた輩と
思った方が良いでしょう」と書きましたが、アメリカ国務省は歓迎の意向を示した
そうです。確かにそういう出来レースでもなければ北朝鮮があんな声明を発表
することはないでしょうね。

まあそうなるとアメリカ国務省も「北朝鮮の意を受けた輩」ということになる
のですが、考えてみればアメリカの外交というのは緻密に考えているようなところ
があるかと思うとかなり抜けていて、結果的にはあまり成功していないように
も思えます。この1年半くらいの国務省の動きはその程度のものかも知れません。

だから、アメリカ頼みではなく日本が主体的にやらなければならないのであ
って、結局はみんなそこにたどり着きます。「話し合いで返していただくのが政府
の方針だから、話し合いの相手がいなくなるとは困る」という本末転倒の方針で
はなく、あの体制がどういう体制で、最終的にどうしなければならないのか、し
っかり考えて行動すべきでしょう。特に税金で給料をもらっている皆さんは。

■戦略情報研究所講演会

戦略情報研究所では下記の日程で講演会を開催します。ふるってご参加下さい

。

1、日程 6月18日(水)18:30~20:30

冒頭約1時間の講演を(株)NetLiveのご協力でインターネット中継します。後
半

はフロアの参加者との質疑応答になります。

2、場所 U1ゼンセン会館2階会議室(千代田区九段南4-8-16 tel03-
3288-3549

)

※市ヶ谷駅下車 3 分 日本棋院斜向い (地図は下記をご覧ください)。

<http://www.uizensen.or.jp/doc/uizensen/access.html>

3、講師 イリハム・マハムティ氏 (世界ウイグル会議日本エージェント)

4、テーマ「ウイグルの真実」

※東トルキスタン (新疆ウイグル自治区) に対する中国共産党政権の弾圧の実態、外国人が見ることのできない現実についてお話しいただきます。

5、参加費 2000 円 (戦略情報研究所会員は無料)。

6、参加申し込み 事前のお申し込みは不用です。そのまま会場においで下さい。

7、お問い合わせ 戦略情報研究所 (03-5684-5096) まで。

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★6月14日(土) 18:00～ 時局講演会 (救う会福岡主催)

●福岡市、福岡市人権啓発センター研究室 (092-262-8464)

●代表荒木が参加

●問い合わせ：松尾和幸事務局長 (090-9607-2758)

★6月15日(日) 19:00～ 特定失踪者安達俊之さんを思う会集会 (同会主催)

●白山市 (はくさんし) 白山町(しらやままち)集会場

●代表荒木が参加

●問い合わせ：河原秀昭代表 (090-8704-5295)

★6月28日(土) 13:30～拉致問題講演会 (庄内ブルーリボンの会主催)

- 鶴岡市・中央公民館
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：佐藤忠智会長（090-7327-1346）

★6月28日（土）18:30～拉致問題講演会（庄内ブルーリボンの会主催）

- 酒田市・中央文化センター
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：佐藤忠智会長（090-7327-1346）

★7月6日（日）13:00～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」

（救う会神奈川主催）

- 横浜情報文化センター（みなとみらい線日本大通り駅前）
- 専務理事真鍋が参加
- 問い合わせ：090（9816）2187又は
sukukaikanagawa@hotmail.com

★8月2日（土）13:30～特定失踪者問題啓発集会（救う会徳島主催）

- 阿南市・文化会館
- 常務理事岡田・理事三宅が参加
- 問い合わせ：陶久会長（0884-26-0090）

★8月17日（日）13:30～公開大討論会（拉致問題を考える茨城県地方議員の会主

催）

- 水戸市・水戸市民会館
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：029-224-7521（前にお知らせしたもので番号が違っておりました。お詫びして訂正します）

★9月21日（日）「仙台集会」（救う会宮城主催）

たそうです。また、核物質や設備・技術がテロ組織に流出しないよう「国際的な努力に積極的に参加する」と言っているとのこと。

そういえば北朝鮮によると朝鮮戦争は韓国がしかけたことになっていますし、ラングーン事件も大韓機事件も知らぬ存ぜぬを通してしています。6年前の9.17 小泉訪朝までは「拉致は右翼反動のでっち上げ」と言っていました。つまりこの声明は「今後もあらゆる形態のテロと、いかなるテロ支援も実行する立場を堅持する」「核物質や設備・技術をテロ組織に流出させるため孤立しても積極的に行う」ということなのでしょう。

ひょっとしたら日本の政治家や一部ジャーナリストなどでもこれをもって「北朝鮮に変化の兆し」などと言う人間がいるかも知れません。そういうのが出てきたら北朝鮮の意を受けた輩と思った方が良いでしょう。

それにしても日本政府も大変ですね。こういう人たちの言葉を、とりあえず真に受けて交渉しなければならないわけですから。本当は「アホか」という一言でおしまいのはずなのですが。やはり体制を変えなければ話にならないのではないのでしょうか。

■戦略情報研究所講演会

戦略情報研究所では下記の日程で講演会を開催します。ふるってご参加下さい。

1、日程 6月18日(水)18:30~20:30

冒頭約1時間の講演を(株)NetLiveのご協力でインターネット中継します。後半はフロアの参加者との質疑応答になります。

2、場所 U1ゼンセン会館2階会議室(千代田区九段南4-8-16 tel03-3288-3549)

※市ヶ谷駅下車3分 日本棋院斜向い (地図は下記をご覧ください)。

<http://www.uizensen.or.jp/doc/uizensen/access.html>

3、講師 イリハム・マハムティ氏(世界ウイグル会議日本エージェント)

4、テーマ「ウイグルの真実」

※東トルキスタン（新疆ウイグル自治区）に対する中国共産党政権の弾圧の実態、外国人が見ることのできない現実についてお話しいただきます。

5、参加費 2000 円（戦略情報研究所会員は無料）。

6、参加申し込み 事前のお申し込みは不用です。そのまま会場においで下さい。

7、お問い合わせ 戦略情報研究所（03-5684-5096）まで。

■調査会役員の参加する講演会等の予定

（公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります）。

★6月14日（土）18：00～ 時局講演会（救う会福岡主催）

●福岡市、福岡市人権啓発センター研究室（092-262-8464）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：松尾和幸事務局長（090-9607-2758）

★6月15日（日） 19：00～ 特定失踪者安達俊之さんを思う会集会（同会主催）

●白山市（はくさんし）白山町(しらやままち)集会場

●代表荒木が参加

●問い合わせ：河原秀昭代表（090-8704-5295）

★6月28日（土）13：30～拉致問題講演会（庄内ブルーリボンの会主催）

●鶴岡市・中央公民館

●代表荒木が参加

●問い合わせ：佐藤忠智会長（090-7327-1346）

★6月28日（土）18:30～拉致問題講演会（庄内ブルーリボンの会主催）

●酒田市・中央文化センター

ることもないでしょう。

もちろん、こちらも反政府活動のつもりでやっているわけではないので、協力していけることはこれまでもしてきましたし、今後ももちろんしていくつもりです。ただ、やはり「拉致被害者を北朝鮮に返していただく」という方針は「北朝鮮から拉致被害者を取り返す」に変えてもらわなければなりません。

■戦略情報研究所講演会

戦略情報研究所では下記の日程で講演会を開催します。ふるってご参加下さい。

1、日程 6月18日(水)18:30~20:30

冒頭約1時間の講演を(株)NetLiveのご協力でインターネット中継します。後半はフロアの参加者との質疑応答になります。

2、場所 UIゼンセン会館2階会議室(千代田区九段南4-8-16 tel03-3288-3549)

※市ヶ谷駅下車3分 日本棋院斜向い (地図は下記をご覧ください)。

<http://www.uizensen.or.jp/doc/uizensen/access.html>

3、講師 イリハム・マハムティ氏(世界ウイグル会議日本エージェント)

4、テーマ「ウイグルの真実」

※東トルキスタン(新疆ウイグル自治区)に対する中国共産党政権の弾圧の実態、外国人が見ることのできない現実についてお話しいただきます。

5、参加費 2000円(戦略情報研究所会員は無料)。

6、参加申し込み 事前のお申し込みは不用です。そのまま会場においで下さい。

7、お問い合わせ 戦略情報研究所(03-5684-5096)まで。

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★6月14日(土) 18:00～ 時局講演会(救う会福岡主催)

●福岡市、福岡市人権啓発センター研究室(092-262-8464)

●代表荒木が参加

●問い合わせ:松尾和幸事務局長(090-9607-2758)

★6月15日(日) 19:00～ 特定失踪者安達俊之さんを思う会集会(同会主催)

●白山市(はくさんし)白山町(しらやままち)集会場

●代表荒木が参加

●問い合わせ:河原秀昭代表(090-8704-5295)

★6月28日(土) 13:30～拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●鶴岡市・中央公民館

●代表荒木が参加

●問い合わせ:佐藤忠智会長(090-7327-1346)

★6月28日(土) 18:30～拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●酒田市・中央文化センター

●代表荒木が参加

●問い合わせ:佐藤忠智会長(090-7327-1346)

★7月6日(日) 13:00～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」(救う会神奈川主催)

●横浜情報文化センター(みなとみらい線日本大通り駅前)

●専務理事真鍋が参加

●問い合わせ:090(9816)2187又は

sukukaikanagawa@hotmail.com

★8月2日(土) 13:30～ 特定失踪者問題啓発集会(救う会徳島主催)

●阿南市・文化会館

■参考情報 欧州縦断北朝鮮人権問題サイクリングツアー

※以下、北朝鮮人権問題で活躍するドイツ人医師、ノルベルト・フォラツェン氏からのご案内です。参加ご希望の方はフォラツェン氏に直接ご連絡下さい。

norbertvollertsen@yahoo.com

★ヨーロッパに於ける「中国による北朝鮮難民送還問題」啓発企画

欧州縦断サイクリングツアー 2008年7月1～15日

“北朝鮮人権の為のツアー” ヨーロッパを全て自転車で移動する初めてのイベントです

北京オリンピックを一ヶ月後に控え、ドイツ、ジュネーブ、パリ及びロンドンを經由して、7月1～15日迄このグループはブリュッセルからハーグ迄自転車で欧州を横断します。

- ・韓国の「緑の自転車の会」のボランティア50名を含む65名の韓国人がこの催事に参加します。
- ・高位の韓国人国会議員1～2名も参加します。
- ・著名な韓国人のキリスト教の指導者や北朝鮮関係の活動家達がこのツアーを統率します。
- ・韓国の報道関係者もこの“北朝鮮人権ツアー”に随行します。
- ・この時期はオリンピック1ヶ月前だけではなく、“ツール・ド・フランス”と同時期でもあります。
- ・最低でも、2台のバス、自転車用のトラック2台そして物資輸送用のバン1台が同行します。
- ・宿泊施設と食事は通過予定されている町の韓国人街に於て用意します。
- ・在ハーグ、ブリュッセル、パリそして最後にロンドンの、オリンピック開催国である中国大使館が主な訪問場所です。
- ・ブリュッセルの欧州議会に於て、北朝鮮映画“クロッシング”の観賞会及び昼食会があります。

- ・欧州議会、ジュネーブの国連前、ハーグの国際法廷前、ストラスブルグの欧州連合人権委員会 前その他に於いて街頭活動・抗議行動を行います。
- ・ライン川に沿って、ベルギーとオランダ、そしてジュネーブ、パリ及びロンドンをサイクリングします。
- ・バスでの長距離移動と夕方の街頭活動。
- ・ローマ法王にこの問題についてスピーチをするよう求めるケルン大聖堂での祈祷会。
- ・チベット抗議活動と同様の、フランクフルトの中国領事館での特別な抗議行動。映画“クロッシング”に関する特別な情報。映画の主人公である男の子のモデルになった実在の少年の父親がこの活動に参加します。
- ・予想できない宣伝活動も行います。

日程

- 6 / 30 (月) 仁川空港からブリュッセルへ
- 7 / 1 (火) ブリュッセル出発
- 6 / 30 (月) ~ 7 / 2 (水) ブリュッセルからオランダのハーグへ自転車移動
- 7 / 3 (木) ハーグ出発アムステルダムへ
- 7 / 4 (金) アムステルダム出発ドイツのヘルトゲンシュヘ
- 7 / 5 (土) ヘルトゲンシュヘからケルンへ
- 7 / 6 (日) ケルンからフランクフルトへ
- 7 / 7 (月) フランクフルト出発ハイデルベルクへ
- 7 / 8 (火) ハイデルベルクからフランスのストラスブルグへ
- 7 / 9 (水) ストラスブルグからジュネーブへ
- 7 / 10 (木) ジュネーブ
- 7 / 11 (金) ジュネーブからフランスのパリへ
- 7 / 12 (土) パリからイギリスロンドンへ
- 7 / 13 (日) ロンドン
- 7 / 14 (月) ロンドン
- 7 / 16 (水) 韓国仁川空港到着

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合もありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★6月8日(日) 13:00～特定失踪者問題を考える市民集会(同集会実行委員会主催)

●稚内市・稚内総合文化センター

●専務理事真鍋が参加

●問い合わせ：加地隆夫実行委員長 (090-5954-4884)

★6月14日(土) 18:00～時局講演会(救う会福岡主催)

●福岡市、福岡市人権啓発センター研究室(092-262-8464)

●代表荒木が参加

●問い合わせ：松尾和幸事務局長(090-9607-2758)

★6月15日(日) 19:00～特定失踪者安達俊之さんを思う会集会(同会主催)

●白山市(はくさんし)白山町(しらやままち)集会場

●代表荒木が参加

●問い合わせ：河原秀昭代表(090-8704-5295)

★6月28日(土) 13:30～拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●鶴岡市・中央公民館

●代表荒木が参加

●問い合わせ：佐藤忠智会長(090-7327-1346)

★6月28日(土) 18:30～拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●酒田市・中央文化センター

主演は「星に願いを」などで著名な韓国俳優チャ・インピョ。

皆様方のご参加、報道をよろしく申し上げます。

日時：6月17日（火）午後6時半開場 7時開会
キム・テギョン監督舞台挨拶 ・「クロッシング」上映
場所；牛込筆筒区民ホール（都営大江戸線牛込神楽坂駅下車すぐ）

<http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/division/261400tansu/hole.htm>

参加費 1000円

主催 NO FENCE <http://nofence.netlive.ne.jp/>

連絡先 宋允復（ソン・ユンボク）事務局長 電話 070-5459-9817

（この映画について 荒木）

実は私もまだこの映画は観ていないのですが、宋さんは今回のバルーンプロジェクトにも参加 していただき、その道中この映画の話の色々お聞きしました。かなり事実を忠実に再現した映画とのことで、試写会は私もぜひ観に行こうと思っています。主演 のチャ・インピョは韓流スターでご存じの方もいると思いますが、私は韓国 MBC のドラマ「英雄時代」の主演ヨン・テサン（モデルは現代グループの創始者鄭周永）をやっている印象に残っています。

それはともかく、日本の中で「まず話し合いで北朝鮮と信頼関係を作って」という（政府もそうかも知れませんが）人は、北朝鮮の人権問題全体を見てから話をするべきだと思います。そのようなことを考える上でも良い材料になることを期待しています。

■調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合もありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

★6月8日(日) 13:00～特定失踪者問題を考える市民集会(同集会実行委員会主催)

●稚内市・稚内総合文化センター

●専務理事真鍋が参加

●問い合わせ： 加地隆夫実行委員長 (090-5954-4884)

★6月14日(土) 18:00～時局講演会(救う会福岡主催)

●福岡市、福岡市人権啓発センター研究室(092-262-8464)

●代表荒木が参加

●問い合わせ：松尾和幸事務局長(090-9607-2758)

★6月15日(日) 19:00～特定失踪者安達俊之さんを思う会集会(同会主催)

●白山市(はくさんし)白山町(しらやままち)集会場

●代表荒木が参加

●問い合わせ：河原秀昭代表(090-8704-5295)

★6月28日(土) 13:30～拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●鶴岡市・中央公民館

●代表荒木が参加

●問い合わせ：佐藤忠智会長(090-7327-1346)

★6月28日(土) 18:30～拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●酒田市・中央文化センター

内 容 拉致被害者へのメッセージ・北朝鮮政府へ向けたメッセージなど

● スタジオが非常に狭いため、収録風景はムービー・スチール各1台のみ（特定失踪者問題調査会担当の幹事社）とさせていただきます。尚、映像・写真につきましては同幹事社から各社へ配布をお願いいたします。

※収録中の音声はスタジオ外で聞くことが可能です。

● ぶら下がりについては収録後、スタジオ外の室内にて行う予定にしております。ぶら下がり取材時には、ムービー・スチールの位置は、受付先着順とさせていただきますのでご了承下さい。

● 前述のように取材は事前申込み制とさせていただきますので、希望の場合は、別紙「申込書」をFAX等で特定失踪者問題調査会あて、6月4日12:00までに提出願います。

申込書は下記のアドレスからダウンロードできます。

<http://www.chosa-kai.jp/tochiji.html>

お問い合わせ：調査会村尾まで

■調査会役員の参加する講演会等の予定

（公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合もあります。調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります）。

★6月8日（日） 13:00～特定失踪者問題を考える市民集会（同集会実行委員会主催）

●稚内市・稚内総合文化センター

●専務理事真鍋が参加

●問い合わせ： 加地隆夫実行委員長 (090-5954-4884)

★6月14日(土) 18:00～ 時局講演会(救う会福岡主催)

●福岡市、福岡市人権啓発センター研究室(092-262-8464)

●代表荒木が参加

●問い合わせ：松尾和幸事務局長(090-9607-2758)

★6月15日(日) 19:00～ 特定失踪者安達俊之さんを思う会集会(同会主催)

●白山市(はくさんし)白山町(しらやままち)集会場

●代表荒木が参加

●問い合わせ：河原秀昭代表(090-8704-5295)

★6月28日(土) 13:30～拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●鶴岡市・中央公民館

●代表荒木が参加

●問い合わせ：佐藤忠智会長(090-7327-1346)

★6月28日(土) 18:30～拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

●酒田市・中央文化センター

●代表荒木が参加

●問い合わせ：佐藤忠智会長(090-7327-1346)

★7月6日(日) 13:00～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」(救う会神奈川主催)

●横浜情報文化センター(みなとみらい線日本大通り駅前)

●専務理事真鍋が参加

●問い合わせ：090(9816)2187又は

sukukaikanagawa@hotmail.com

★8月2日(土) 13:30～ 特定失踪者問題啓発集会(救う会徳島主催)

